

# 親子記者募集!

言自治体協議会事務局

(info@nucfreejapan.com)

に送信。メール送信不可の場合に限り郵送可。

〒8528117

長崎市平野町7-8

長崎原爆資料館

日本非核宣言自治体協議会事務局宛。5月7日

(火)必着。申込多数の場合は抽選。参加経費として枚方市駅から長崎市

までの往復交通費、宿泊費、滞在中の取材補助経費(1組1万円)支給。

発行新聞やマスコミからの取材等で、参加者の氏名や写真が公表される場合もあり。

詳細は日本非核宣言自治体協議会

<http://www.nucfreejapan.com/>

「親子記者実施要領」を参照。

(問) ☎07278411259

fax 07278411700

市長公室人権政策室

(担当:岩部)

8月8日(木)～11日

(日・祝)の4日間、原

爆資料館の見学、平和祈

念式典に参列して、取材

や記事作成をする親子

記者を募集。抽選で選ば

れた小学生と保護者9組

を長崎に招待する。記事

は同協議会が編集をし

て「おやこ記者新聞」と

して発刊され、同協議会

のホームページに掲載。

会員自治体などに配布。

主催の日本非核宣言自治

体協議会(会長・長崎市

長)には341自治体が

加入(2018年10月現

在)。昨年は『ナガサ

キ・ピース・タイムズ』

第11号が発刊され、被爆

者の声や被爆の実相を伝

える被爆遺構や、若い世

代による被爆体験の継承

や平和発信の取り組み、

被爆地の平和への祈りに



昨年の親子記者

ついでに掲載記事があった。昨年の参加者からは「73年前の悲劇を二度と繰り返してはいけないと思った」「戦争体験者の話を今のうちに聞いて次の世代に平和の大切さを伝えていきたい」などの感想が寄せられた。

対象は、4年生以上の小学生とその保護者。戦争の被害や平和の尊さを伝えることに関心がある人。事前課題あり。応募方法は、申込書を電子メールに添付して、日本非核宣